

・ 以下の内容は現時点のドラフトであり、今後詳細を議論する中で変更される可能性がございます。

「新 7 つの課題」	当面のゴール(案)と取り組み例
①重要資源・部品の安全保障 …資源・部品不足による「作れない」をなくす	 ほとぼりが冷めても後戻りしない BCP の仕組み構築（リスク評価～対応検討～調達行動） ・ 業界としての、足下の資源調達の対応力強化 ・ 競争・協調の明確化と、業界としてのコミット具体化
②マルチパスウェイの社会実装 …50 年 CN に向け、マルチパスそれぞれで脱炭素商品の普及を目処付け	 WtW を前提に、50 年 CN 達成に向けた BEV・CN 燃料車・FCEV それぞれの CO2 削減施策具体化  各動力・エネルギーへの投資予見性を高める実装 PJT の立上げ ・ 各動力の CO2 削減量を評価する指標の統一（= WtW） ・ 関連業界が投資に踏み切るための環境整備・コミット具体化
③CE の仕組みづくり …経済安全保障・環境対応に向け部品・資源を使い倒す仕組みを構築	 静脈産業の事業化（社会実装）に向けたモビリティ産業としての指針明確化 ・ 各材料（電池・樹脂・非鉄など）の静脈商流における課題整理 ・ 再生材仕様・データ基盤等の標準化 ・ 国内循環に必要な支援制度の具体化
④人材基盤の強化 …安定した開発・生産・販売・サービスに向けて、継続的に人材が確保・育成される仕組みを構築	 生産現場・ソフトウェア人材等の確保に向けた打ち手の明確化 ・ 自動車産業におけるソフトウェア人材不足の真因具体化 ・ 産業の魅力訴求・採用増に向けた、生産現場の働き方改革
⑤自動運転を前提とした交通システム確立 …安全・安心な交通社会に向けて車両・人・インフラ三位一体で仕組み構築	 交通システム基盤の社会実装に向けた規格統一 ・ 統一すべき交通システム基盤の明確化(通信・運行管理等) ・ 関係省庁・業界横断での議論の枠組み整備 ・ 自動運転の社会実装時期や具体的進め方の官民合意
⑥自動車関連税制抜本改革 …簡素化・負担軽減でユーザーに納得感のある税体系へ	 今回の税制大綱で示された「簡素化・負担軽減」の道筋のさらなる具体化 ・ 官民での議論を通じた、重量税の暫定税率の税体系全体の中での扱い具体化 ・ BEV・FCEV・軽など異なる領域を公平に扱う仕組みの具体化
⑦サプライチェーン全体での競争力向上 …電動化・知能化や労働力不足に対応し、競争力を高めるべく SC を再構築し、現場の余力を拡大	 戦略的水平分業として、OEM 間の仕様標準化・協調領域拡大 ・ エンジン（部品標準化） ・ 半導体（仕様/情報基盤標準化） ・ 物流（共同物流の仕組化）